

# 周波数データ解析簡易化

マイクロクロス  
がレコーダー  
**違法電波など監視**

【立川】マイクロクロス（東京都八王子市、田仲克彰社長、042・637・3667）は、リアルタイムI/Qデータレコーダーシステム「MQ5300」写真」を10

日に発売する。測定・分析した周波数データをデータ解析しやすいI/Qデータに変換し、SSD（ソリッドステートドライブ）やハードディスク駆動装置（HDD）に収

録する。通信会社や放送局などに無線システムの通信

測定、違法電波の監視・測定調査向けで提案する。価格は398万—1

104万6000円（消費税抜き）。初年度20台の販売を目指す。

電気信号や電磁波に含まれる周波

数データを、I/Qデータに変換し、リアルタイムで3—30時間収録する。I/Qデータは振

幅、位相データを極座標から直交座標に変換したデータで、さまざまなデータ解析に使えるメリットがある。

収録したデータは独自のソフトウェアでスペクトログラム表示し、範囲指定した領域の周波数の波形を再生・解析する。

周波数幅は最大60メガヘルマで一括測定できる。最大3台のアナライザーで複数の異なる周波数帯を同時測定できる。

測定周波数20キロ—3・

3ギガヘル、同20キロ—8・5ギガヘルの2タイプで、記録容量はSSDが2・88—8・64テラバイト、HDDが8

—32テラバイト。省スペース化や書き込み速度といった顧客ニーズに応じて製品を選べるようにした。